

今治みらい発掘プロジェクト12×「四国家のお宝」





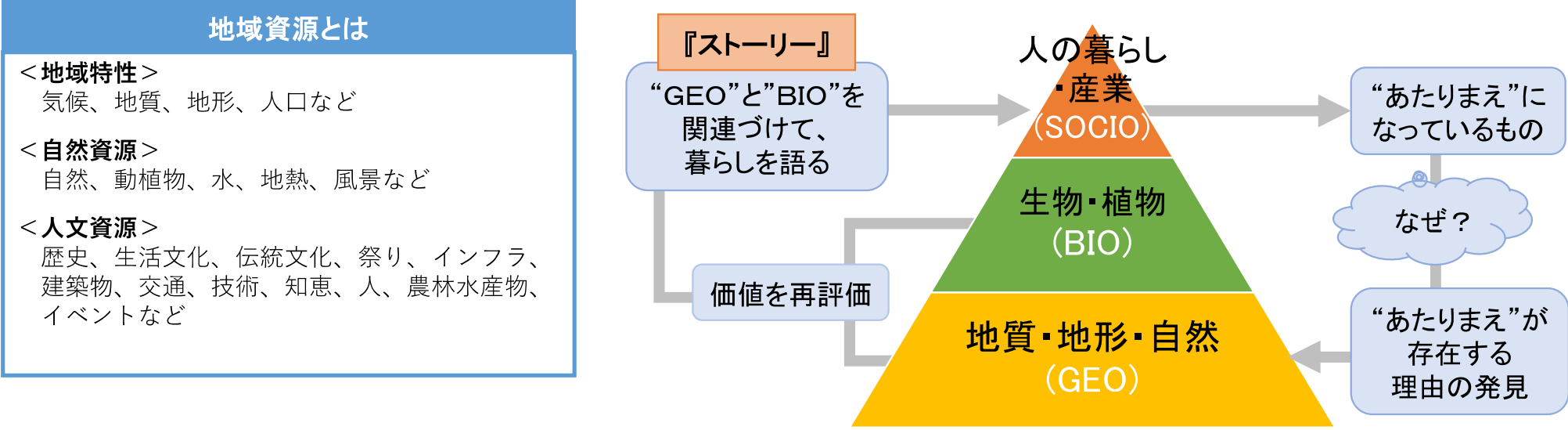
四国家のお宝
Treasure of Shikoku-ke

「四国家のお宝」 とは？	四国に存在する地域資源・文化資源を掘り起こし、地域と協働して付加価値付けされた観光素材・文化素材に磨き上げ、観光による地域活性化を目指す取り組み。
お宝の定義	◎ 他では見られない固有の価値がある・・・ 本物性 ◎ 予備知識が無くても惹きつけられる・・・ 物語性 ◎ 価値の提供が地域の枠組みの中で可能・・・ 持続性

～物見遊山型の従来の観光スタイルから脱却し、地域の物語に触れる**新たな観光スタイルの提案～**

- 四国の地域資源・文化資源を掘り起こし、**付加価値付けされた観光素材・文化素材**への磨き上げ
- 地域と協働し、その素材の**本物性・物語性**を再評価し、**ストーリー**をつくる
- 最終的には、四国の関係人口を増やし、**地域経済が持続的に活性化**することが目標

◆「四国家のお宝」における旅行商品の造成方法
あたりまえに存在する地域資源を、なぜそれが存在するのか調べ、地域の地質・地形・自然やそこに住まう生物・植物の視点から地域資源の価値を再評価する。それらをひとつの「ストーリー」でまとめる方法。



今治みらい発掘プロジェクト12×「四国家のお宝」

みらい発掘PT12で発掘隊員により発掘された今治市内の地域資源を活用した「四国家のお宝」ツアーを実施します。造成に当たっては、島嶼部の発掘隊員に協力いただき、今治の海と島の暮らしや文化を紐解きます。

【実施概要】

項目	内容
実施形態	募集型企画旅行
実施日程	2026年3月
実施団数	各ツアー 2団設定（日帰り）
人数規模	12名程度 （小型バスの乗車人数想定）



▲宮窪・吉海エリアでのフィールドワークの様子（2024年5月11日実施）

【候補地】

項目	大島・伯方島	大三島
大テーマ	今治の海と島が育んだ物語と、その地に根付いた人々の暮らし	
サブテーマ	海と共にある人々の暮らしとは？	“神の島”での人々の暮らしとは？
コンテンツ案（素材）	【宮窪：石材業・漁業】大島石、潮流 【伯方：海事・製塩産業】船主、製塩	【大三島：農業】 大山祇神社（島デザイン部のガイド）、甘藷栽培